

第27回国立大学法人奈良女子大学経営協議会議事要録

日 時 平成22年6月10日(木)午後2時00分～午後4時50分
場 所 第一会議室(事務局管理棟3階)
出席者 野口学長、佐久間理事、野口理事、馬場理事、本田理事、尾池委員、馬越委員、湯山委員
欠席者 河井委員、山口委員
列席者 今井監事、鈴木監事、外嶋総務・企画課長、大原研究協力課長、水谷財務課長、人見施設企画課長、藤熊学務課長、増間学生生活課長、竹下入試課長、山崎図書課長、小田原国際課課長補佐、木下総務・企画課課長補佐、桑原総務・企画課総務係長
議 長 野口学長

議事に先立ち、学長から挨拶の後、出席委員及び陪席者の紹介があり、あわせて本学の概要、国立大学法人における経営協議会の位置付け及び審議事項等について参考資料にもとづき説明があった。

審議事項

1. 平成21年度決算について

財務課長から、平成21年度決算の状況並びに本学の財務運営分析の概要について資料1により説明があった。また、資料1-1～1-4により平成21事業年度財務諸表として文部科学大臣に提出することとなることの説明の後、監事から監査結果について報告があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、委員から、学生一人当たりの教育経費並びに教員一人当たりの研究経費の推移について確認があり、学長から推移の現状及び今後の見通し等について説明があった。

また、委員から、教育体制の充実や学生支援の充実が求められていることから、その指標となる教員一人あたりの学生数のデータや、他大学との比較分析についても統計資料として提示し、確認しておく必要があるとの意見があった。

2. 平成21年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績報告について

学長から、文部科学大臣に提出することとなる平成21年度及び中期目標期間に係る業務実績報告書類について参考資料により説明の後、資料2-1～2-4により平成21年度及び中期目標期間に係る業務実績の主要事項について説明があり、審議の結果、細部の事項及び文言の整理等については学長に一任することとして、これを承認した。

なお、委員から、教員評価の実施方法や評価結果を待遇面へ反映させる具体的方策並びに総人件費削減による教育面等への影響について確認があり、学長から各々説明があった。

また、教員評価に関連して、委員から、学生の教員評価・授業評価を教育改善に反映させることの重要性について意見があり、特に女性教員に対する女子学生の授業評価結果は、第2期中期目標に掲げる女性教員比率の達成や、国立女子大学の存在意義に關す

る社会的説明に足る資料等となり得ることが期待できるなど、学生評価を教育改善へ反映させる仕組み等の更なる充実の必要性について意見があった。

さらに、委員から、4年一貫のキャリア教育の成果を検証するための卒業生への追跡調査等の必要性について意見があった。

3. 平成 23 年度概算要求事項について

学長から、第 2 期中期目標期間となる平成 22 年度以降の概算要求の取扱いについて説明の後、平成 23 年度の特別経費（プロジェクト分及び基盤的設備等整備分）概算要求事項について資料 3 により説明があり、審議の結果、文部科学省と事前協議中である施設整備関係要求事項を含め、最終の調整及び要求順位の決定等については学長に一任することとして、これを承認した。

また、学長から、概算要求に関連して、大学院入学定員の見直しを含む全学的な教育研究組織の見直しを今期中期計画に掲げており、具体の検討を進める予定であることの説明があった。

4. 役員の平成 22 年 6 月期に支給する勤勉手当の勤務成績評価について

学長から、国立大学法人奈良女子大学役員給与規程にもとづく勤勉手当の成績率の取扱いについて資料 4 により説明の後、6 月期に支給する役員の勤勉手当の勤務成績評価の取扱いについて諮られ、審議の結果、第 1 期中期目標期間の本学評価結果を勘案し、全役員に対し標準である 75/100 を適用することとした。

5. 学長選考会議委員の選出について

学長から、国立大学法人法にもとづく学長任命手続き並びに学長選考会議の委員構成及び審議事項等について資料 5 により説明の後、経営協議会から選出する学長選考会議委員の選考について諮られ、審議の結果、尾池委員、馬越委員及び湯山委員を選出するとともに、残る 1 名については次回経営協議会において選出することとした。

報告事項

1. 第 2 期中期目標・中期計画及び平成 22 年度計画について

学長から、国立大学法人の意見を聴いて文部科学大臣が提示した第 2 期中期目標、文部科学大臣の認可を受けた第 2 期中期計画及び文部科学大臣に届け出た平成 22 年度計画の概要並びに主要事項について資料 6 により説明があった。

なお、委員から、第 2 期中期計画の施設整備に関連して、奈良盆地東縁活断層が存在する特殊事情から、学生の安全・安心に重点を置いた施設整備を優先的に推進する必要があるとの意見があり、学長から耐震改修工事を中心とした本学施設の整備状況について資料により説明があった。

2. 本学の最近のおもな動きについて

学長から、女性教員の採用促進・若手教員の活性化方策、教育改革等推進プログラム実施状況を中心とした本学並びに附属学校の最近のおもな動きについて資料 7 により説明があった。

なお、委員から、国立大学附属学校の役割である先導的な教育課程の研究開発やSSHをはじめとする教育実践等を推進し、教育行政への提言や公立学校に対し成果の還元を行うなど、引き続き指導的役割を果たしていただきたいとの意見があった。

また、委員から、県内における共学の国立総合大学の設置に係る県民からの要望の有無について確認があり、学長から特段の強い要望がないこと及び機能別分化された各国立大学を配置する県内高等教育機関の特徴について説明があった。

以 上